第Ⅲ部 研究委員会・研究会の動向

Ⅱ 特別研究会・アドホック研究会・ミニ研究会の動向

ミニ研究会／記念基金助成研究テーマ

「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」

川上 博士*

Report on Activities of the Committee to Form “Global Network of Young Engineers and Researchers in Welding and Joining Fields” at 2008

by KAWAKAMI Hiroshi*

キーワード：若手技術者・研究者，溶接・接合，グローバルネットワーク，国際化，アジア

はじめに

平成 16 (2004) 年度より，溶接学会記念基金助成活動の一環として，「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会が発足した。本委員会は主に AWF (アジア溶接連盟) 会議期間中に開催されるセミナーおよびシンポジウムへの発表者派遣活動を行っている。発足当初は日本人発表者で構成されたスタイルであったが，現在では現地溶接学会主催の国際シンポジウム形式が一般的になっており，現地研究者ならびに AWF 加盟国研究者との交流を活発に行っている。ここでは平成 20 (2008) 年度の活動を報告する。

6th International Materials Technology Conference and Exhibition

AWF 活動関連行事および若手研究者交流活動の一環として，溶接・接合セッションにおける 3 件の研究発表者に関して参加依頼等の補助業務を行った。

日時：2008 年 8 月 24 日～27 日

場所：マレーシア・Park Royal Hotel

1. Interfacial Structure between Gallium Nitride and Metallic Deposition Films
Masakatsu Maeda, Hiroo Hatakawa,
Yasuo Takahashi
発表者 前田正克 (大阪大学)
2. Development of Hollow Cathode Arc Welding in Vacuum
Fumikazu Miyasaka, Daisuke Yamabe,
Akira Yamoto, Shinichiro Shobako, Takayoshi Ohji
発表者 宮坂史和 (大阪大学)
3. Development of Laser Brazing Technique to Join Dissimilar Materials of Ti Alloys and Stainless Steel

Hiroaki Mori, Miku Morita, Kazuyohi Saida,
Kazutohi Nishimoto

発表者 森 裕章 (大阪大学)

11th AWF meeting and Symposium

11 回目の AWF 会議が 8WS (8th International Welding Symposium) 会期中に開催された。当委員会は，AWF 加盟機関として協力関係にある日本溶接協会国際活動委員会と連携して，会議およびシンポジウム開催に関連する諸業務を行った。これまでの AWF 会議ではロケーションによっては欠席が目立つ場合があったが，今回は遠方にもかかわらず主要メンバーが一堂に会した。(残念ながらフィリピンは欠席したが，シンポジウムではシンガポール代表による代読の形で参加。) また，モンゴルの AWF 加盟が今回の会議にて承認された。シンポジウムでは，各国の現状に関するプレゼンテーションと意見交換が活発に行われた。

日時：2008 年 11 月 16 日 13:30～17:30 (シンポジウム)

2008 年 11 月 17 日 9:30～17:30 (会議)

場所：日本・京都国際会館

海外参加国：中国，インド，インドネシア，韓国，マレーシア，モンゴル，シンガポール，タイ 計 8 ケ国

海外参加者：24 名

シンポジウム参加者：40 名

シンポジウム発表者リスト (発表順)

1. 高橋邦夫氏 (東京工業大学)
2. Mr. Suchin Katavut (タイ溶接学会会長・AWF 会長)
3. Mr. Efren Ibanez (フィリピン溶接学会)
4. Prof. Winarto (インドネシア大学)
Ir.Achdiat Atmawinata (インドネシア溶接学会会長)
5. Mr. Dorj Garmaa (モンゴル材料科学・溶接学会)
6. Mr. B. Pattabhiraman (インド溶接学会会長)
7. Prof. Wu Yixiong (上海交通大学・次期 AWF 会長)
8. Prof. Suck-Joo Na (韓国溶接接合学会会長)
9. Mr. Ang Chee Pheng (シンガポール溶接学会会長)
10. 百合岡信孝氏
(日本溶接協会溶接技術情報センター長)

原稿受付 平成 21 年 4 月 15 日

*正 員 三重大学 Member, Mie University

図1 高橋邦夫氏による講演

図2 AWF 京都会議の1コマ

おわりに

次回 AWF 会議およびシンポジウムは、2009 年 7 月にシンガポール IIW 年次大会期間中に開催される予定である。さらに、11 月の韓国溶接接合学会秋季大会（韓国・済州島）期間中に 5 回目となる日韓シンポジウムの開催が予定されている。

謝辞

本活動は、溶接学会フェローの皆様を始め、会員各位のご理解とご支援によって活動が可能となっております。この場をお借りして、皆様に御礼申し上げます。